



1月8日、けいはんな学研都市新年賀詞交歓会

未来をひらく 新文化首都 けいはんな

CONTENTS

* 平成21年度関西文化学術研究都市関係府予算案等の概要	1
* けいはんな学研都市新年賀詞交歓会	3
* 関西文化学術研究都市「研究成果・技術交流セミナー」	3
* 最近の動き	3



平成21年度関西文化学術研究都市関係政府予算案等の概要

◆国立国会図書館関西館

関西館第二期建設用地の取得は、平成20年度ですべて終了したところですが、関西館敷地・建築調査費4千6百万円が計上されました。本調査費は、所蔵資料が東京本館、関西館とも平成29年度には満架になる見込みのため、関西館第二期建設に着手するための調査費です。

なお、関西館全体では資料整備費、庁舎維持管理経費、事業運営経費などを含めて総額16億2千2百万円が計上されました。今後は、第二期建設に向け、科学技術やアジアの関連資料を始め、資料の一層の充実、また電子図書館サービスや企業、大学等との幅広い連携の推進についても大いに期待されます。

◆奈良先端科学技術大学院大学

平成21年度の特別教育研究経費として認められた主な事業としては、「アンビエント環境知能研究創出事業」、「大学院教育グローバル化プログラム」、「最先端メディカルフォトリックデバイスの研究推進」、「植物科学・研究推進・教育推進創出事業」などがあります。

◆日本原子力研究開発機構関西光科学研究所

光量子科学研究関連経費4億円などが計上されました。また、同研究所が中心となって、産学官連携で進められている「『光医療産業バレー』拠点創出」（文部科学省科学技術振興調整費「先端融合領域イノベーション創出拠点の形成」プログラム採択）も順調に進んでおり、先進的レーザーを活用した先進医療への応用など、今後の活動が期待されます。

◆平城宮跡国営公園化

平城宮跡については、我が国固有の優れた文化的資産の保存・活用を図るため、平成20年度予算で国営公園化が認められ、昨年10月には、国営公園整備に関する閣議決定が行われました。

平成21年度の国営公園予算が内示され、国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域の整備が着実に進められると期待されます。

また、平城宮跡保存整備についても7.2億円が計上され、「平城遷都1300年記念事業」（平成22年）に向け着実に進められています。

◆私のしごと館

今年3月に開館7年目を迎える「私のしごと館」は、若者を主な対象として、職業に関する様々な体験機会や体系的な職業情報の提供等を行う職業情報拠点として、入館者数が昨年11月には開館以来190万人を超えるなど、修学旅行の一環や校外学習として、中高生を中心に大変多く利用されています。

昨年9月からは民間会社が運営を受託し、今後も職業情報拠点及び学研都市活性化の拠点として期待をされていますが、昨年12月24日の閣議決定において、「私のしごと館については、平成22年10月までに廃止する」とされました。

◆総務省「ユビキタス特区」創設

総務省ではICT産業の国際競争力を強化するため、平成19年に「ICT国際競争力強化プログラム」を策定し、その中で、日本のイニシアティブによる国際展開可能な「新たなモデル」を確立するため、「ユビキタス特区」を創設し、平成20年1月に学研都市及び周辺地域がエリア指定され、「ユビキタス環境立国」と「ユビキタス観光立国」が決定されました。

平成21年度予算は全国枠で17億円が計上されていますが、今後の革新的なICTサービスの実現化と共に、学研都市がユビキタスの実用化プロジェクトの先進地となることが期待されます。

◆本都市における税制上の優遇措置

平成20度末が適用期限である本都市における税制上の優遇措置については、平成21年度税制改正において、国税関係では法人税の特別償却制度が、特別償却率を引き下げ（建物等：10%→8%、機械・装置：20%→16%）のうえ、地方税関係では資産割に係る事業所税の課税標準の特例を見直した（1/2控除→1/3控除）うえ、課税標準の特例措置等が2年間延長されることが認められました。

◆その他

上記の他に、関西文化学術研究都市の都市建設推進に向けた調査費として2千4百万円が計上されました。



平成21年度関西文化学術研究都市関係政府予算案等の概要

		平成21年度 政府予算案	平成20年度 政府予算額	備 考
立 地 施 設 関 係	国立国会図書館関西館 (国立国会図書館)	16.2億円	19億円	
	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (総務省)	26億円 の内数	42億円 の内数	独立行政法人情報通 信研究機構民間基盤 技術研究促進事業
	独立行政法人情報通信研究機構 けいはんな研究所 (総務省)	357億円 の内数	353億円 の内数	独立行政法人情報 通信研究機構運営 費交付金
	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 (文部科学省)	63.1億円	65.6億円	国立大学法人奈良先 端科学技術大学院大 学運営費交付金
	独立行政法人日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所等 (文部科学省)	1,691億円 の内数	1,687億円 の内数	独立行政法人日本 原子力研究開発機 構運営費交付金
	平城宮跡保存整備 (文化庁)	7.2億円	6.5億円	
	独立行政法人雇用・能力開発機構 私のしごと館 (厚生労働省)	7.8億円	10億円	運営費
	財団法人地球環境産業技術研究機構 (経済産業省)	14.2億円 の内数	23億円 の内数	
	都市公園（国営飛鳥・平城宮跡歴史公園） 平城宮跡区域整備 (国土交通省)	1,051億円 の内数	1,101億円 の内数	
推 進 方 策 等	関西文化学術研究都市の都市建設推進に資 する調査の実施 (国土交通省)	0.2億円	0.4億円	



けいはんな学研都市新年賀詞交歓会

1月8日(木) けいはんなプラザにおいて、新春恒例のけいはんな学研都市新年賀詞交歓会が開かれました。

立石義雄当推進機構理事長が新年の抱負と決意を述べた後、榎並和雅(独) 情報通信研究機構けいはんな研究所長が立地機関を代表してご挨拶、河井規子木津川市長が乾杯の音頭をとられました。

交歓会には立地施設の代表者など約200名が参加、親しく交流するとともに、本都市のいっそうの発展を祈念しました。



関西文化学術研究都市「研究成果・技術交流セミナー」

1月23日(金)、京都商工会議所で、同会議所、京都府商工会議所連合会、(社)京都工業会及び当推進機構主催の「関西文化学術研究都市『研究成果・技術交流セミナー』」が開催されました。当セミナーは学研都市の研究成果を地元企業へ紹介し、事業化・産業化への手がかりを提供することを目的に、数回／年開催しています。

今回のセミナーは、藤井透同志社大学理工学部教授(元、竹の高度利用センター長)を講師にお招きし、持続的再生可能な天然資源として大変注目されている“竹”をテーマに、その有効活用と産業化の可能性について講演いただきました。

今回のテーマ「身近な資源“竹”の産業化」に

は、参加者の関心も高く、企業関係者ら40余人が参加され、活発な質疑や意見交換が行われました。



最近の動き

1月8日 けいはんな学研都市新年賀詞交歓会

1月8日 けいはんな学研都市活性化促進協議会設立

1月23日 関西文化学術研究都市「研究成果・技術交流セミナー」

平成21年2月発行
 発行 (財)関西文化学術研究都市推進機構
 関西文化学術研究都市建設推進協議会
 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7
 けいはんなプラザ 交流棟3F
 TEL(0774)95-5105 FAX(0774)95-5104
 E-mail: admin@kri.or.jp